

幼児のうたの

作曲について



小林つや江

一月号では幼児に与える歌詞についてどのようなのが適しているか、また幼児の音域はどのくらいであるかということを中心としてお話をしてみました。そしてかんたんな作曲例として「ぶたちゃん」の歌詞から曲の出来るまでのお話をしてみました。今回は、創作以前の導入はどのように考えていったらばよいかということから新指導要領の一年生の表現活動のうちの創作から考えることにいたしました。

(1) 創造的に表現する意欲を育てる。

ア その音楽の気分や楽しさを感じながら、歌ったり楽器をひいたりする。

イ 音楽に合わせて創造的に身体表現をする。

(2) 即興的に音楽表現をする能力を養う。

ア 動物の鳴き声、物壳の声または呼び声などを模倣する。

イ 周囲の物音のもつリズムを模倣する。

ウ 即興的に簡単なことばで問答をする。

とあります。これは一年生の劇作への基礎として一応経験させていきそこから創作への芽をのばしていくようにするのですが、私どもも創作の過程としてこの経験は一応すべきだと思えます。

この中でとくに(2)に示された、即興的に音楽表現をする能力を養う中で、動物の鳴き声から考えてみましょう。みなさんのお家の中

や外にいる動物、園へいく途中また動物園などで経験した動物のなき声とリズムにはどんなものがあるでしょうか。

猫	ニャー	ニャー			
ねずみ	チュウ	チュウ	チュウ		
犬	ワン	ワン			
馬	ヒ	ヒ	ーン		
牛	モウ	モウ			
にわとり	コケ	コッコ	ー		
めんどり	ココ	ココ	ココ		
ひよこ	ピョ	ピョ	ピョ		
やぎ	メエ	メエ			
ぶた	ブー	ブー			
おさる	キャッ	キャッ	キャッ		
すずめ	チュン	チュン	チュン		
からす	カー	カー			
とんび	ピー	ヒョロ	ヒョロ	ヒョロ	
あひる	ガー	ガー	ガー		

これらの動物のなき声はみなさんが常に耳にしていることで改めて申し上げることはありませんがもう一度心してきいてみて下

さい。リズムもこの他にいろいろあると思います。このなき声とリズムをつかって創作の中に入れてみましょう。これだけでも楽しくなります。

例 ねずみが ちゅう ちゅう ちゅう ちゅう
もちひく ちゅう ちゅう ちゅう ちゅう

これは戸倉ハル氏の詞であります。ねずみといわなくても「ちゅうちゅうちゅう」と歌えば幼児はねずみということがわかります。わんわんは犬の代名詞になり、ぶーぶーは自動車を、というように、幼児はこのようななき声や擬音をきくと、直接そのものを身近に親しみやすく感じると思います。

この詞に創作をすることになりました。私は、何回も何回も歌詞をよみました。お正月のおいしいおもちをひいていくねずみを想像してみました。

わずみが | ちゅっ ちゅっ ちゅう |
もちひく | ちゅっ ちゅっ ちゅう |

右下のように区切ってみました。そしてアクセントをつけてよんでいくうちに二拍子型になりました。

(2拍子)

ねずみが | ちゅっちゅっちゅっ
もちひく | ちゅっちゅっちゅっ

上の拍子にリズムを考えてみ
ました。

ねずみが | ちゅっちゅっちゅっ

$\frac{2}{4}$ ♪♪♪♪ | ♪♪♪ |

もちひく | ちゅっちゅっちゅっ ||

♪♪♪♪ | ♪♪♪ |

これは七つ打ちのリズム型が二つくり返されていることにお気づ
きでしょう。この七つ打ちのリズムは三つ打ちのリズムについて幼
児によくばれるリズム型であります。
そこでことばのアクセントを考えて下段右上のように音程をつけ
てみました。

このようにして創作をしてみました。できてからも何回も何回も
歌ってみました。また子どもと一しよにうたってみました。
子どもたちがよろこんで歌っていましたのでいよいよこれに伴奏
をつけてみました。

下段、下図のとおり、旋律(ふし)をつけてみました。

イ 調子……………へ長調
ロ 拍子……………四分の二拍子
ハ 音域……………へ〜ハ(五度)
(ドレミソの四音)
ニ リズム……………

ねずみが | ちゅっちゅっちゅっ | もちひく | ちゅっちゅっちゅっ ||

♪♪♪♪ | ♪♪♪ ♪ ||

ねずみが ちゅっ ちゅっ ちゅっ

タ タ タ タ タ タ タ タ タ タ タ タ タ
ど ど ど れ み み み そ そ み れ そ そ そ
ね ず み が ちゅっちゅっちゅっ も ち ひ く ちゅっちゅっちゅっ

ホ
リズム唱…タタタタ タタタン
へ 速度……………

J=96

このように何回もうたっているうちに
前奏がほしくなりました。ねずみのちい
さくないたり大きくないたりする感じを
P(ピアノ)・f(フォルテ)で表現し
てみました。後奏はみんなでおもちをひ
いていく心持です。よいしょよいしょと
いいながら演奏してください。自分のお
うちまでもってきたねずみさんは、やれ
やれというきもちで終るようにかいてみ
ました。

このようにかんたんな詞や鳴き声や擬
声音を取り扱った詞をつかってまず歌詞
をつくってみましょう。そうしてことば
のアクセントにきをつけて、お話をする
ような気持で旋律をつけてください。
リズムはこどものすきなリズムをつか
うとよい作曲ができます。

かわいく **J=96** ねずみが ちゅっ ちゅっ ちゅっ 戸倉ハル 作詞
小林つや江 作曲

○ 周囲の物音のもつリズムを模倣する

これは「ねずみがちゅちゅちゅちゅちゅ」のときにもちよつとふれ
ました、楽しいリズムの反復は幼児の音楽を作曲する場合とくに
意を用いていたのだと思います。まず私たちが日常つかっている
リズムにはどんなのがあるかしらべてみましょう。

ごめんください： と二つうち
とんとん とんとん

うれしいな： と三つちう
とんとんとん とんとんとん

速度をはやめると この三つうちは
二拍子になる

マ マ・パ パ： の二つうちは二
拍子がつぎの
 の二つうちは三
拍子になる

またお友だちを呼ぶときには

は な こ さ ん 四つうち
は な こ さ ん

五つうち
あそびま しょ

四つうち
まって て ね

上のように二つうち、三つうち、

四つうち、五つうちが幼児や低学年
のいつもしらずに使っているリズム
型であります。また「ねずみ」の曲
のように七つうちのリズムもよろこ
べれます。七つと五つのリズムから
できている曲の中の一つを御参考ま
でにみて下さい。(下)

お母さんにつれられて、でかける
時ふと日頃かわいがっているポチに
気がつき「ぼくのいないときも淋し
がらないでおるすばんしているの
ですよ。ね、わかりましたか、ポチ
ちゃんよ」と歌をなでながらいって
るようですが目の前にかびます。ポ
チはさびしそうに、「ぼく、さびし
くつてもおとなしくまっていますか
ら早くかえってきてくださいね、お
みやげまっていますよ」といつてい
るようです。いつもお母さんにいわ

やさしく $\text{♩} = 92$

る す ば ん し て ね

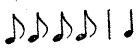
戸倉ル 倉林ハヤ 小つや 作詞作曲

る す ば ん し て ね ぼ ち よ ぼ ち
た た た た た た た た た

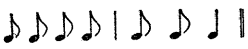
7

5

速度……「=92



五つうち



ホリスム唱……

ニリスム型……七つうち

の五音階

(六度)(ドレミソラ

ハ音域……ハハ・イ

ロ 拍子……四分の二拍子

イ 調子……ハ長調

たいなーと考えました。

とはやさしい心でうたい

に、まず第一に思ったこ

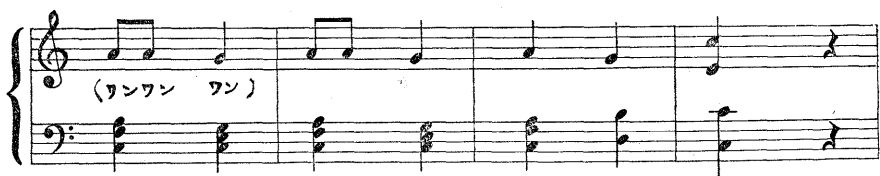
うたれます。詞をみた時

して歌っているのに心を

れることばをボチにたく

やさしく $\text{♩} = 92$ るすばんしてね

戸倉ハル江 詞作
小林つや 作曲



♩ = 88

したきりすずめ

戸倉ハル 作詞
小林つや江 作曲



したきり すずめ おやどは どこだ
た た た た た た た た た た た た た た た た た

7

7

ホ リズム唱…タタ
カタカタタン
ニ リズム…
ラの三音)です。
(四度) (ミソ)

ハ 音域…ホ、イ
ロ 拍子…四分の二拍子
イ 調子…ハ長調

回くりかえしています。
けています。この旋律を二
したきりすずめと呼びか

ぶへ訪ねていく歌ですね。
しい心持でお山の中の竹や
とよいおじいさんが、やさ

おやどはどこだ
したきりすずめ

つぎは「したきりすず
め」で七七調であります。

をもつて

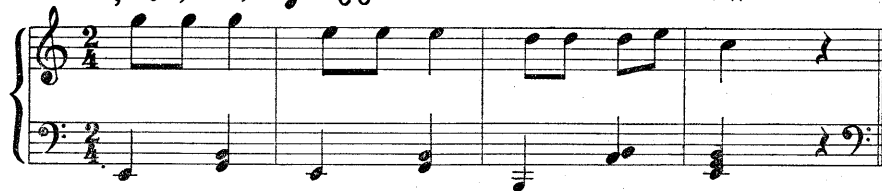
ト 曲想…やさしく愛情



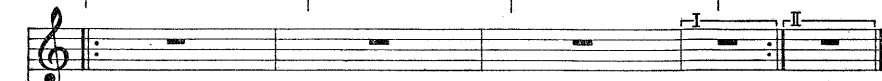
♩ = 88

したきりすずめ

戸倉ハル 作詞
小林つや江 作曲



したきり すずめ おやどは どこだ



問「もういいかい」	♪ ♪ ♪	♪ ♪	♪ ♪	♪ ♪	三つうち
答「まだだよ」	♪ ♪ ♪ ♪	♪ ♪	♪ ♪	♪ ♪	四つうち
問「もういいかい」	♪ ♪ ♪	♪ ♪	♪ ♪	♪ ♪	三つうち
答「まだだよ」	♪ ♪ ♪ ♪	♪ ♪	♪ ♪	♪ ♪	四つうち
問「もういいかい」	♪ ♪ ♪	♪ ♪	♪ ♪	♪ ♪	三つうち
答「もういいよ」	♪ ♪ ♪ ♪	♪ ♪	♪ ♪	♪ ♪	四つうち

ト 速度……………
 ト 曲想…あい情をもつ
 てやさしく歌います。
 つぎに「わらべうた」をか
 んがえてみましょう。
 ♩ = 88

もういいかい

わらべうた

♩ = 112

このあそびのうたは三つうちと、四つうちのリズムが交互にくり返されています。
 イ 調子……日本旋法(陽音階)
 ロ 拍子……四分の二拍子
 ハ 音域……・へ・イ(三度)(ドレミの三音)
 ニ リズム型……………
 ホ リズム唱……タンタンタンウン
 タンタタンウン
 ト 曲想……あかるくたのしく
 ♩ = 112

わらべうたにはつねにあそびがついています。
 あそびながらうたうときには、どうしても歌い易いように自然に音域がせまくなっています。みなさんの地方にもいろいろおもしろいわらべうたがあると思いますからしらべてみてください。その中には子ども好きなリズムや、音程が理解できると思います。
 とにかく作ってみることです。はじめは模倣から入りますからどこかできいたようなリズムや旋律ができるかもしれません、そのうちに自分のリズムや旋律が生まれてくると思います。